

2022年1月25日

各位

当社石油製品の生産・供給体制の再構築について

当社（社長：大田 勝幸）は、和歌山製油所（所長：手島 政嘉、和歌山県有田市）の精製・製造および物流機能について、2023年10月を目途に停止することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、安全操業および安定供給を大前提として、基盤事業である石油精製販売事業におけるサプライチェーン全体の競争力を強化することによって、2040年グループ長期ビジョンにおいてありたい姿として掲げる「アジアを代表するエネルギー・素材企業」となることを目指しております。

国内石油製品の構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争の激化に加え、今般の新型コロナウイルスによる急激な需要減少等、石油精製販売事業を取り巻く様々な環境を総合的に勘案した結果、製油所・製造所の生産・供給体制の再構築が急務と判断し、この度、和歌山製油所の製油所機能を停止することといたしました。

2023年10月の製油所機能の停止に至るまで、引き続き安全操業に努めるとともに、今後も地域のエネルギーの安定供給に貢献してまいります。

以上

<和歌山製油所の概要>

所在地	:	和歌山県有田市初島町浜1000
操業開始	:	1941年（昭和16年）
所長	:	手島 政嘉
従業員	:	447名（2022年1月1日現在）
敷地面積	:	約248万㎡
原油処理能力	:	127,500バレル/日

< ENEOSの製油所・製造所体制 >

● 製油所10拠点

原油処理能力：合計1,868.8千B/D

* 下図の各製油所の数字は2022年1月25日時点の原油処理能力

▲ 製造所1拠点

